

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）  
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 28 NOV 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 PC-9316	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/014556	国際出願日 (日.月.年) 28.09.2004	優先日 (日.月.年) 30.09.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G11B 7/24, C08F 2/46, C09J 4/00, C09J 11/06		
出願人 (氏名又は名称) 大日本インキ化学工業株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
  - ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
    - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
    - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
  - ☐ 電子媒体は全部で \_\_\_\_\_ (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。  
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 23.06.2005	国際予備審査報告を作成した日 08.11.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 藤野 雅昭 電話番号 03-3581-1101 内線 3551	5D 8721

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願  
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文  
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))  
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))  
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

- ☐ 出願時の国際出願書類  
☒ 明細書  
 第 1-30 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
☒ 請求の範囲  
 第 1-3 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 第 5-14 \_\_\_\_\_ 項\*、23.6.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
☐ 図面  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
☐ 配列表又は関連するテーブル  
 配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 4 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-3、5-14	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-3、5-14	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-3、5-14	有
	請求の範囲	無

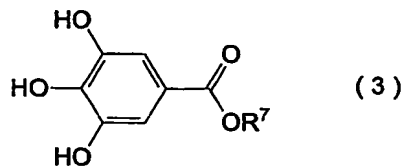
## 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: JP 2002-265886 A (日本化薬株式会社) 2002.09.18  
文献2: JP 02-141284 A (旭化成工業株式会社) 1990.05.30

文献1、2は当業界の一般的な技術水準を示す文献である。  
蛍光灯等の照射を受けることによって少なくとも界面付近の接着層の内部に銀が微粒子状となって侵入することにより反射膜が黒変することを防止するために、特定の化合物を含有させる点を特徴とする請求の範囲1-3、5-14に係る発明は、新規性、進歩性を有していると認められる。

上に設けられている請求項 1 に記載の光ディスク。

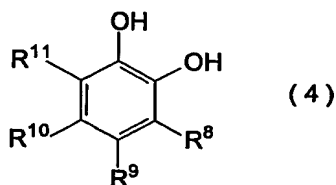
3. 前記式 (1) で表される化合物が、式 (3)



(式中、 $R^7$ は、水素原子、ハロゲン原子で置換されていても良い炭素数 1～20 のアルキル基又はハロゲン原子で置換されていても良い炭素数 1～20 のアルケニル基を表す) で表される化合物である請求項 1 又は 2 のいずれかに記載の光ディスク。

4. (削除)

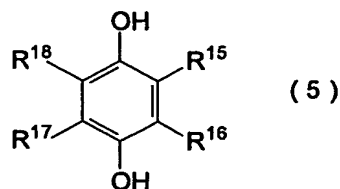
5. (追加) 前記式 (1) で表される化合物が、式 (4)



(式中、 $R^8$ 、 $R^9$ 、 $R^{10}$ 及び $R^{11}$ は、それぞれ独立的に、水素原子、ハロゲン原子、炭素数 1～8 のアルコキシル基、置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数 1～24 のアルキル基、或いは置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数 1～24 のアルケニル基を表す (式中、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$ 、及び $R^{14}$ は、それぞれ独立的に、炭素数 1～8 のアルキル基又は炭素数 1～8 のアルケニル基を表す) ) で表される化合物である請求項 1 又は 2 のいずれかに記載の光ディスク。

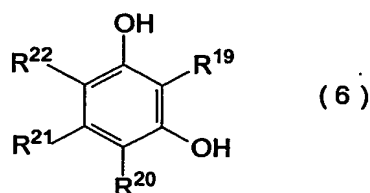
6. (追加) 前記式 (1) で表される化合物が、式 (5)

32/1



(式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 及び $R^{18}$ は、それぞれ独立的に、水素原子、ハロゲン原子、炭素数1～8のアルコキシル基、置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数1～24のアルキル基、或いは置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数1～24のアルケニル基を表す(式中、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$ 、及び $R^{14}$ は、それぞれ独立的に、炭素数1～8のアルキル基又は炭素数1～8のアルケニル基を表す))で表される化合物である請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。

7. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、式(6)



(式中、 $R^{19}$ 、 $R^{20}$ 、 $R^{21}$ 及び $R^{22}$ は、それぞれ独立的に、水素原子、ハロゲン原子、炭素数1～8のアルコキシル基、置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数1～24のアルキル基、或いは置換基として $-COOH$ 、 $-COOR^{12}$ 、 $-OCOR^{13}$ 又は $-OR^{14}$ を有していても良い炭素数1～24のアルケニル基を表す(式中、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$ 、及び $R^{14}$ は、それぞれ独立的に、炭素数1～8のアルキル基又は炭素数1～8のアルケニル基を表す))で表される化合物である請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。

8. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、没食子酸、カテコール、3-sec-ブチルカテコール、3-tert-ブチルカテコール、4-sec-ブチルカテコ

- ル、4-tert-ブチルカテコール、3, 5-ジ-tert-ブチルカテコール、3-sec-ブチル-4-tert-ブチルカテコール、3-tert-ブチル-5-sec-ブチルカテコール、4-オクチルカテコール、4-ステアリルカテコール、ヒドロキノン、2-ヒドロキシヒドロキノン、2, 5-ジ-tert-ブチルヒドロキノン、2, 5-ビス(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)ヒドロキノン、2, 5-ビス(1, 1-ジメチルブチル)ヒドロキノン、レソルシノール、オルシノール又はピロガロールである請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
- 10 9. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、没食子酸である請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
- 15 10. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、4-tert-ブチルカテコールである請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
11. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、ヒドロキノンである請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
- 20 12. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、2-ヒドロキシヒドロキノンである請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
13. (追加) 前記式(1)で表される化合物が、レソルシノールである請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。
- 25 14. (追加) 前記式(1)で表される化合物の含有量が、紫外線硬化型組成物全体に対して、0.05～10質量%である請求項1又は2のいずれかに記載の光ディスク。